



学校通信

令和8年 4月 6日
東京都立葛飾盲学校長
竹内 大吾
(第1号)

「御進級・御入学おめでとうございます。」

校長 竹内 大吾

3月下旬から4月にかけて降る雨のことを春雨（はるさめ）、桜雨などと呼びます。

「春の雨 烟れば（けぶれば） なにもかも ゆるび」（山田弘子）という俳句があるように、煙るように降る春の雨は、寒い冬の終わりを告げ、私たちの心を解きほぐし、新年度が始まる温かな雰囲気醸し出してくれます。

4月に入り、暖かな陽気とともに、春雨の日が続く中で、本日から新年度が始まりました。

令和8年度は、明日の入学式で入学する新転入生5名を含む幼稚部8名（3学級）、小学部17名（8学級）、中学部7名（3学級）の計32名でスタートします。保護者の皆様方には、お子さまの御進級・御入学を心よりお慶び申し上げます。

なお、保護者の皆様方には別紙にてお知らせいたしましたとおり、教職員につきましては、3月末をもって17名が退職・転出等をし、新たに19名の教職員が着任いたしました。校長は、私、竹内大吾（たけうち だいご）が引き続き務めます。教職員一同共々よろしく申し上げます。

さて、雨といえば、日本語には、「夕立」「通り雨」「時雨」「梅雨」「秋雨」「氷雨」などの雨の種類を表す言葉が様々あります。一説によると、昔の人は、全ての雨は同じではなく「一期一会」の自然の情景を美意識として、その時々風景、感情を伝える四季折々の情緒を表す言葉として多くの名称が生まれたと言われております。

教職員も同様に、全く同じ人間はおりませんが、その年度毎のメンバーが、「子供たちの健やかな成長」のために、それぞれがもつ様々な専門性や良さを発揮しながら、子供たちの指導にあたっていきます。

今年度も、新しいメンバーを加えた「全て」の教職員が一丸となって、本校「全て」の幼児・児童・生徒に対して、一人一人の将来の豊かな生活の実現に向けて、必要な力を育むべく、全力で取り組んでいく所存です。

引き続き、保護者の皆様方をはじめ、地域の皆様方、関係機関の皆様方におかれましては、御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「 令和8年度の始まりを迎えて 」

副校長 近藤 美紀

新しい年度の始まりにあたり、幼児・児童・生徒、そして保護者の皆様方に心より御挨拶申し上げます。一人ひとりが安心して自分らしく過ごし、日々の学びや成長を積み重ねていけるよう、私たち教職員も気持ちを新たに支援してまいります。今年度も、温かい言葉かけや小さな頑張りを大切に、笑顔が広がる学校づくりを進めていきたいと思っております。

皆様と共に、実りある一年をつくっていただけることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。